

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル
株式会社 ルネサス テクノロジ
問合せ窓口 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-SH7-A553A/J	Rev.	第1版
題名	バースト ROM インタフェース使用上の注意事項について		情報分類	技術情報	
適用製品	R5S72060W200FPV R5E72060W200FPV	対象ロット等 全ロット	関連資料	SH7206 グループ ハードウェアマニュアル (RJ09B0183-0100 Rev.1.00)	

SH2A の上記製品において、クロック非同期のバースト ROM インタフェースへのライト動作で、ご使用上の注意事項がございます。ご理解、ご了承いただきたくお願いいたします。

1. 不具合現象

クロック非同期のバースト ROM 空間へのライトアクセス直後の外部バス空間へのリード/ライトアクセスが正常に実行されない場合があります。

正常に実行されない外部バス空間アクセスが、命令フェッチの場合には、不当命令例外処理の発生、または、プログラムに記述されていない命令を実行する場合があります。データアクセスの場合には、リード値が不正になる、または、ライト動作が正常に行われない場合があります。

2. 不具合発生条件

以下の3条件を全て満たす場合に、上記の不具合現象が発生します。

- (1) クロック非同期のバースト ROM インタフェースを 16 ビットバス幅でご使用の場合
(CSnBCR.TYPE[2:0]設定が B'001、かつ CSnBCR.BSZ[1:0]設定が B'10)
- (2) バースト数を 4 に設定の場合 (CSnWCR.BST[1:0]設定が B'10)
- (3) 上記設定のクロック非同期のバースト ROM インタフェースに対して、オペランドキャッシュのライトバックが発生する場合、または、DMAC による 16 バイト転送のライトアクセスが発生する場合

3. 注意事項

本不具合によるご使用上の注意事項を以下に示します。

クロック非同期バースト ROM インタフェースをご使用する場合 (CSnBCR.TYPE[2:0]設定が B'001) において、バス幅 16 ビット (CSnBCR.BSZ[1:0]設定が B'10) およびバースト数 4 (CSnWCR.BST[1:0]設定が B'10) でご使用される場合は、

- (1) CPU による当該バースト ROM 空間へのライトアクセスが存在する場合は、キャッシュ無効空間へのライトアクセスでご使用、もしくは、オペランドキャッシュをライトスルーに設定してご使用してください。
- (2) DMA による当該バースト ROM 空間へのライトアクセスが存在する場合は、転送サイズをバイト/ワード/ロングワードでご使用、もしくは、16 バイト転送の場合は転送開始アドレスの下位 4 ビットを H'0 または H'8 に設定してご使用してください。

以上